



例題と解説

例題 1

□にあてはまる小数を答えなさい。

(1) $30\text{分} = \square\text{時間}$

(2) $15\text{分} = \square\text{時間}$

(3) $90\text{秒} = \square\text{分}$

(4) $24\text{秒} = \square\text{分}$

答え (1) 0.5 (2) 0.25 (3) 1.5 (4) 0.4

[例題 1 の解説]

例えば120分は2時間です。1時間は60分なので、 $120 \div 60 = 2$ より2時間であることがわかります。

60分より小さくても同じです。分を時間に直す場合は、 $\bigcirc\text{分} \div 60\text{分} = \triangle\text{時間}$ となります。

また、秒を分に直す場合も同じです。 $\bigcirc\text{秒} \div 60\text{秒} = \triangle\text{分}$ となります。

(1) $30 \div 60 = 0.5$ より0.5時間

(2) $15 \div 60 = 0.25$ より0.25時間

(3) $90 \div 60 = 1.5$ より1.5分

90秒は60秒より大きいので1分より大きくなります。

(4) $24 \div 60 = 0.4$ より0.4分



例題と解説

例題2

□にあてはまる分数を答えなさい。

(1) $30\text{分} = \square\text{時間}$

(2) $80\text{分} = \square\text{時間}$

(3) $45\text{秒} = \square\text{分}$

(4) $40\text{秒} = \square\text{分}$

答え (1) $\frac{1}{2}$ (2) $1\frac{1}{3}$ (3) $\frac{3}{4}$ (4) $\frac{2}{3}$

[例題2の解説]

小数で表すのと同じです。例えば25分であれば $25 \div 60 = \frac{25}{60} = \frac{5}{12}$ 時間となります。

約分するのを忘れないようにしましょう。

(1) $30 \div 60 = \frac{30}{60} = \frac{1}{2}$ より $\frac{1}{2}$ 時間

小数で表せば $30 \div 60 = 0.5$ 時間となります。 $\frac{1}{2} = 0.5$ なので小数でも分数でも同じであることがわかります。

(2) $80 \div 60 = \frac{80}{60} = 1\frac{20}{60} = 1\frac{1}{3}$ より $1\frac{1}{3}$ 時間

小数で表そうとしても $80 \div 60 = 1.333\cdots$ となりわりきれないので小数で表すことはできません。



例題と解説

$$(3) \quad 45 \div 60 = \frac{45}{60} = \frac{3}{4} \text{ より } \frac{3}{4} \text{ 分}$$

$$(4) \quad 40 \div 60 = \frac{40}{60} = \frac{2}{3} \text{ より } \frac{2}{3} \text{ 分}$$

ポイントまとめ

- ・ 分を時間に直す場合は、 $\bigcirc \text{分} \div 60 \text{分} = \triangle \text{時間}$ となります。
- ・ 秒を分に直す場合も同じです。 $\bigcirc \text{秒} \div 60 \text{秒} = \triangle \text{分}$ となります。